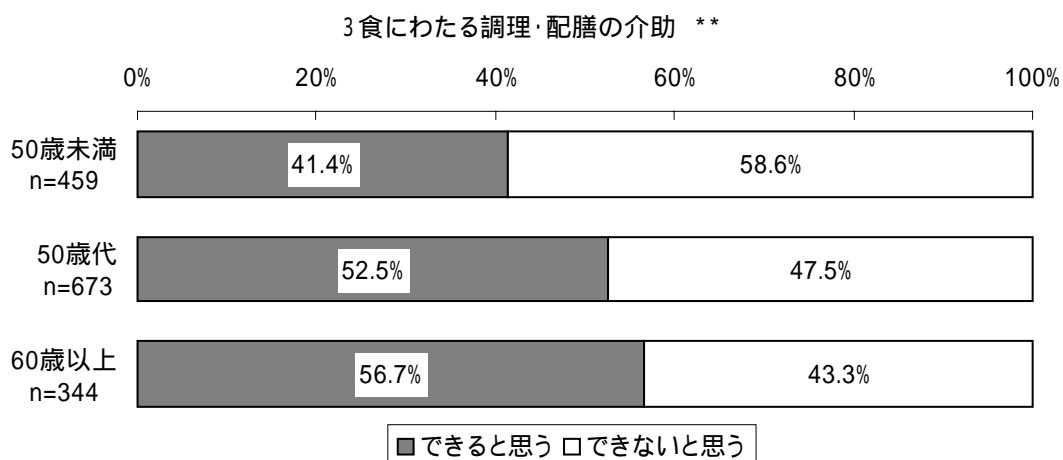
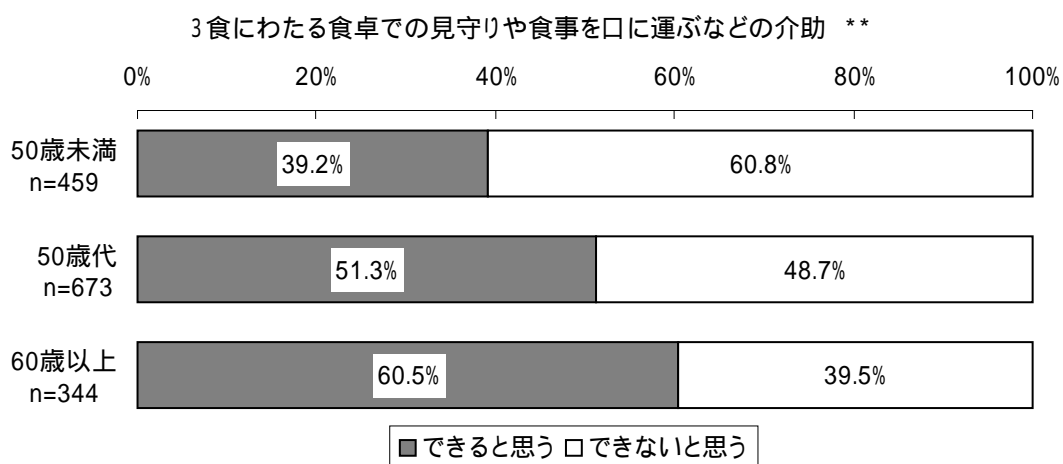


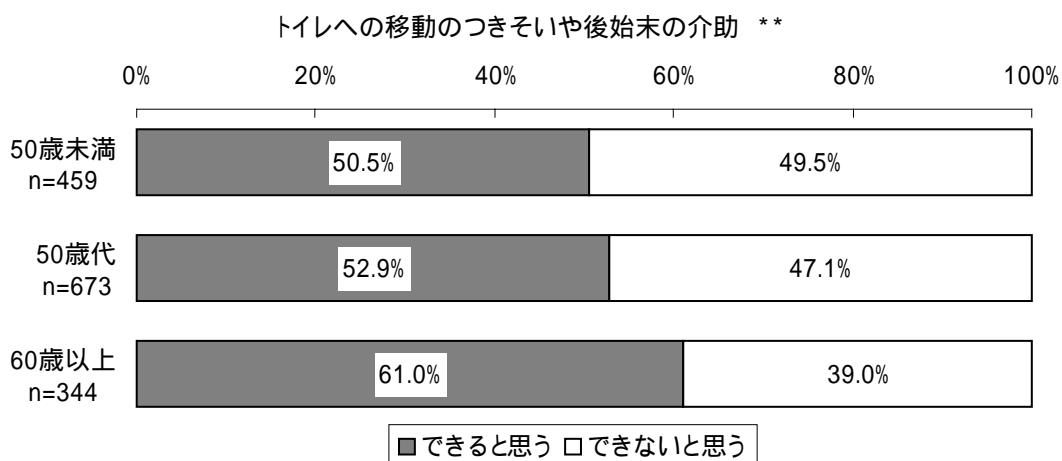
## 7) 年齢と可能な介助項目との関係



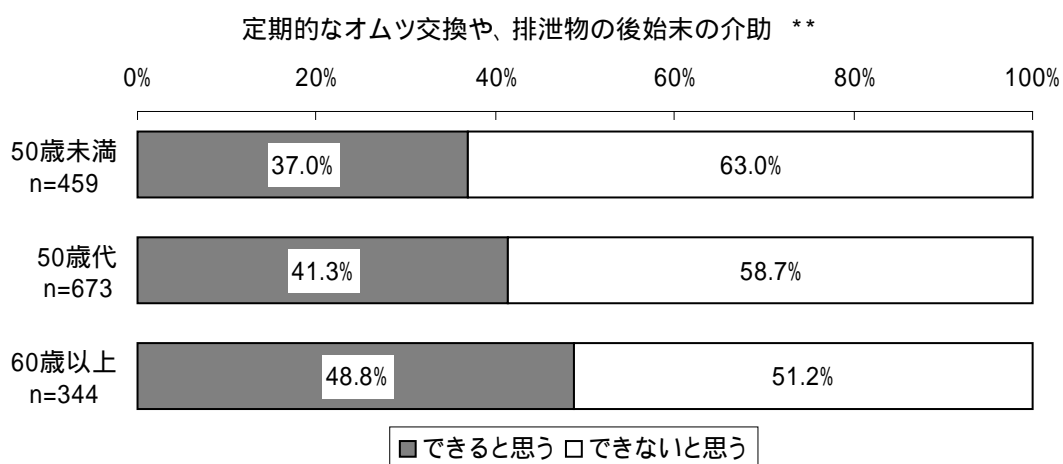
家族が「3食にわたる調理・配膳の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では41.4%、50歳代では52.5%、60歳以上では56.7%であり、統計学的に有意な差が認められた。



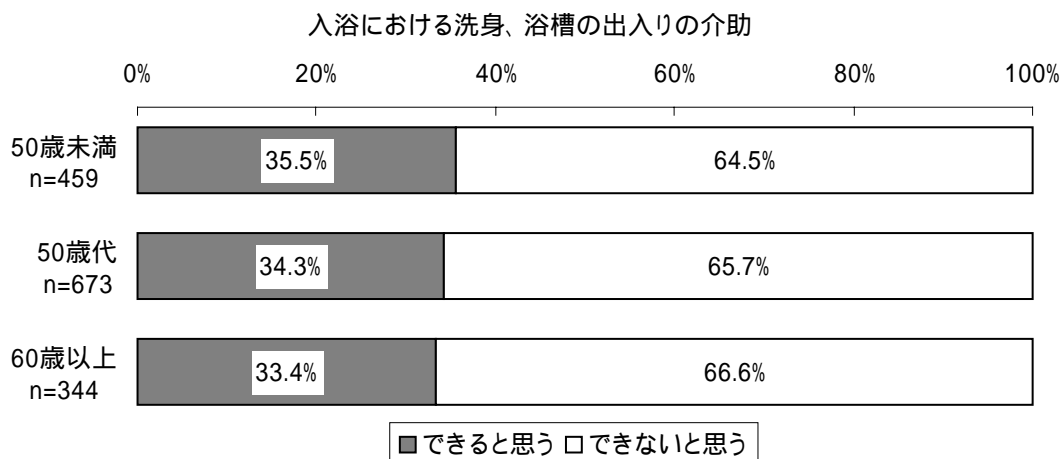
家族が「3食にわたる食卓での見守りや食事を口に運ぶなどの介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では39.2%、50歳代では51.3%、60歳以上では60.5%であり、統計学的に有意な差が認められた。



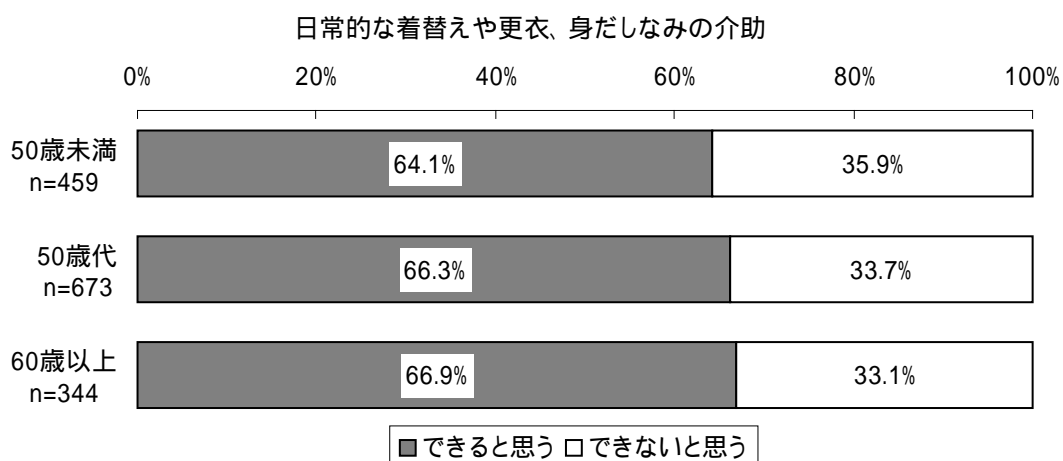
家族が「トイレへの移動のつきそいや後始末の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では50.5%、50歳代では52.9%、60歳以上では61.0%であり、統計学的に有意な差が認められた。



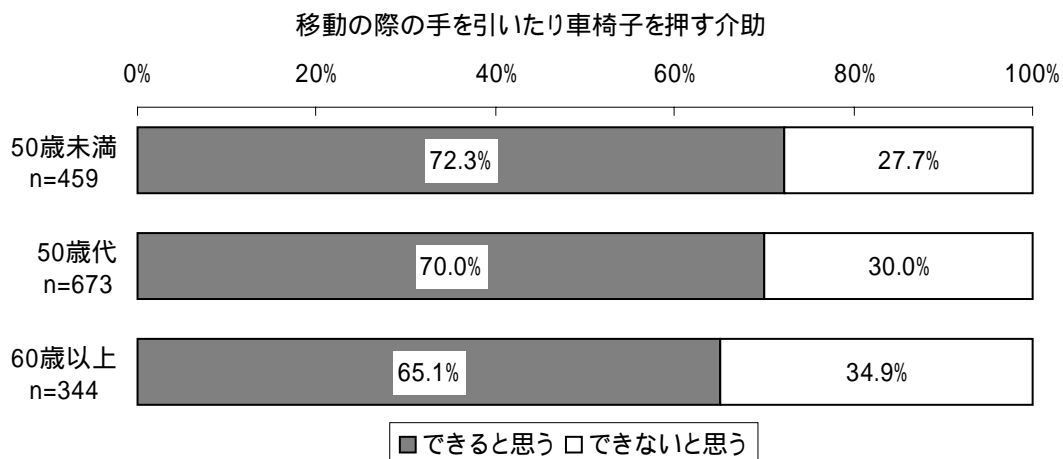
家族が「定期的なおムツ交換や、排泄物の後始末の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では37.0%、50歳代では41.3%、60歳以上では48.8%であり、統計学的に有意な差が認められた。



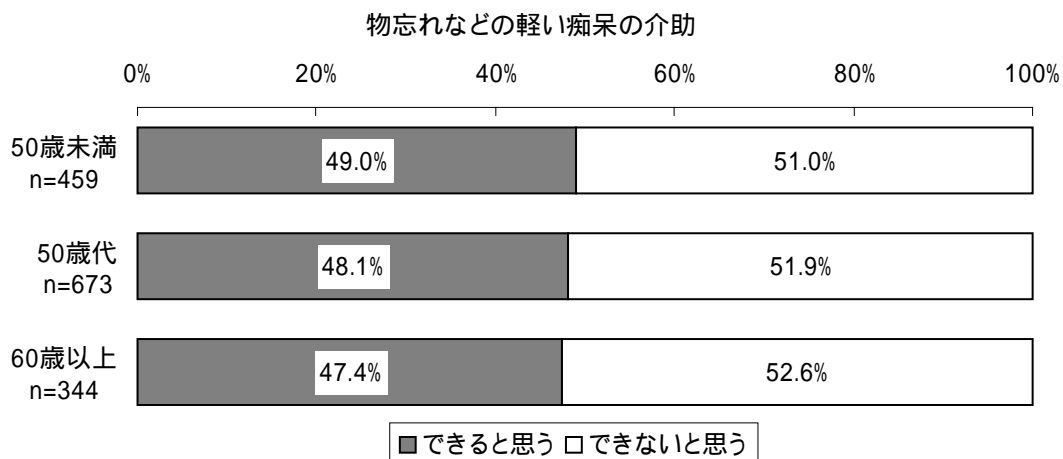
家族が「入浴における洗身、浴槽の出入りの介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では35.5%、50歳代では34.3%、60歳以上では33.4%であった。



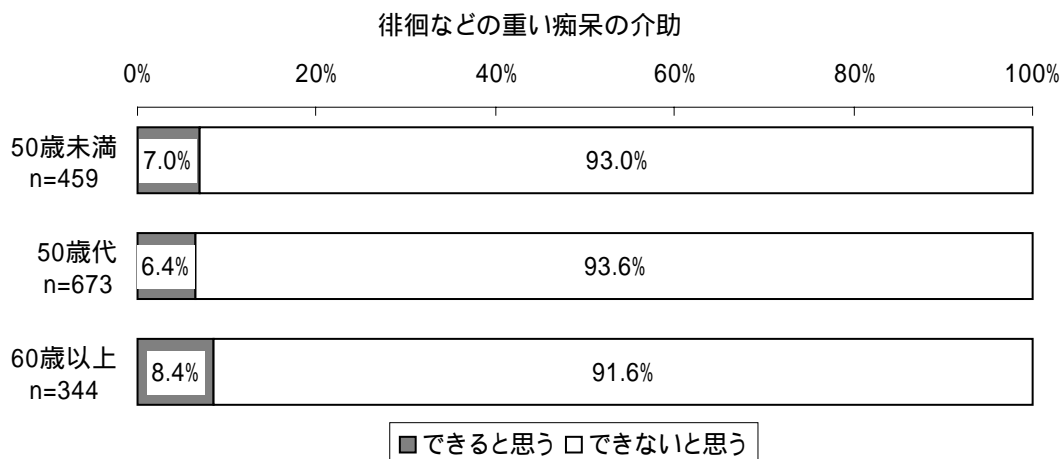
家族が「日常的な着替えや更衣、身だしなみの介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では64.1%、50歳代では66.3%、60歳以上では66.9%であった。



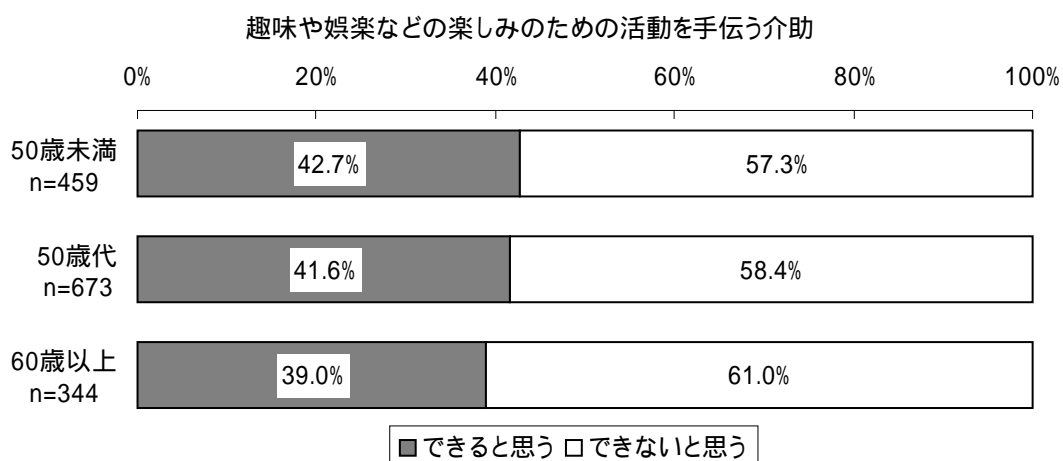
家族が「移動の際の手を引いたり車椅子を押す介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では72.3%、50歳代では70.0%、60歳以上では65.1%であった。



家族が「物忘れなどの軽い痴呆の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では49.0%、50歳代では48.1%、60歳以上では47.4%であった。

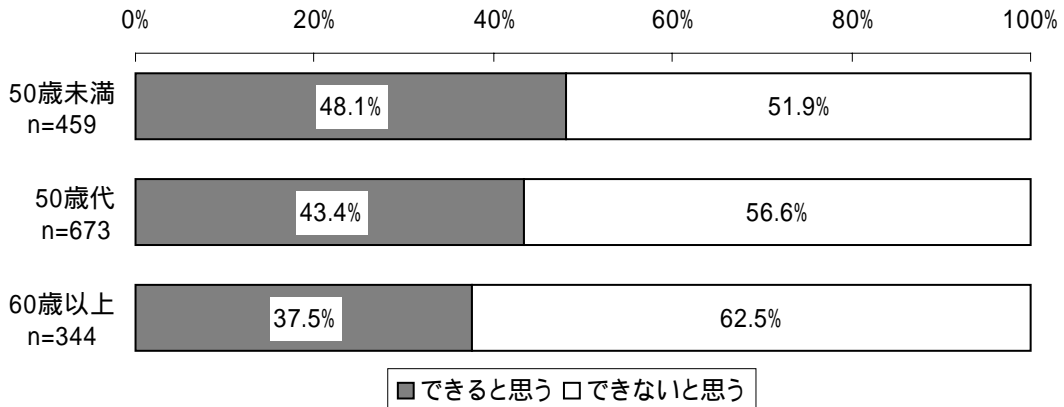


家族が「徘徊などの重い痴呆の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は 50 歳未満では 7.0%、50 歳代では 6.4%、60 歳以上では 8.4%であった。



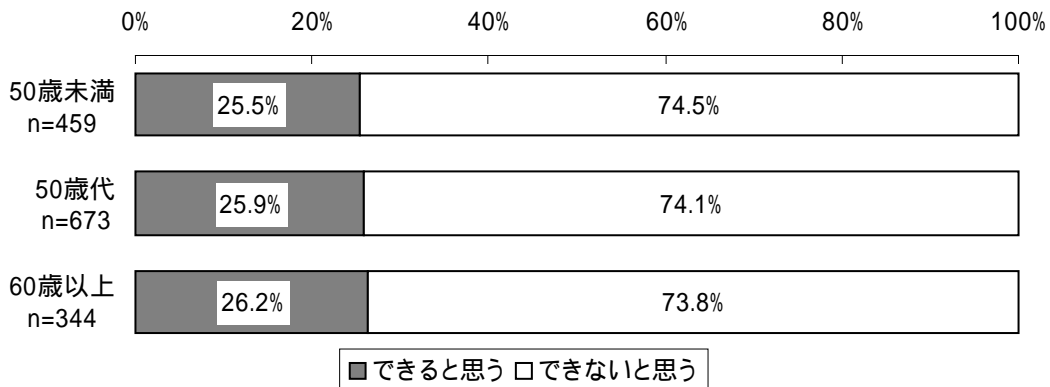
家族が「趣味や娯楽などの楽しみのための活動を手伝う介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は 50 歳未満では 42.7%、50 歳代では 41.6%、60 歳以上では 39.0%であった。

服薬や医療機器の管理など病気療養上の介助 \*

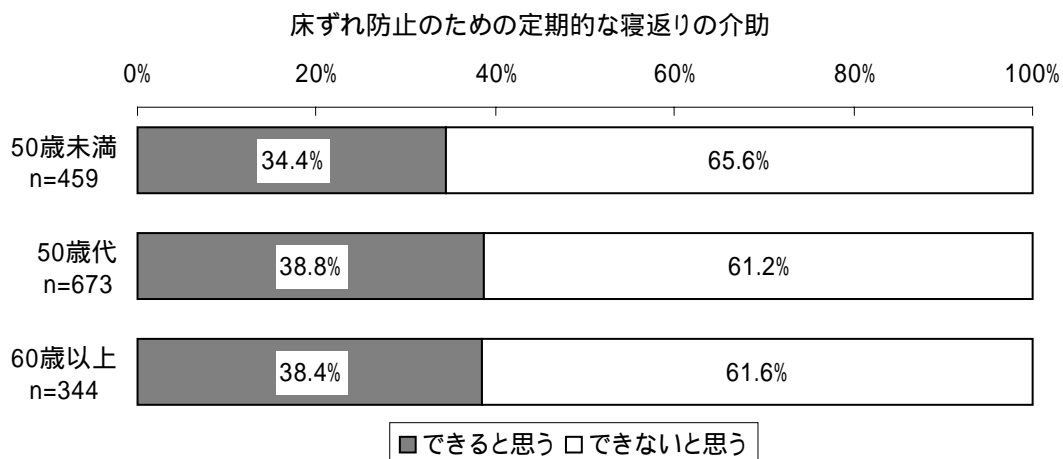


家族が「服薬や医療機器の管理など病気療養上の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では48.1%、50歳代では43.4%、60歳以上では37.5%であり、統計学的に有意な差が認められた。

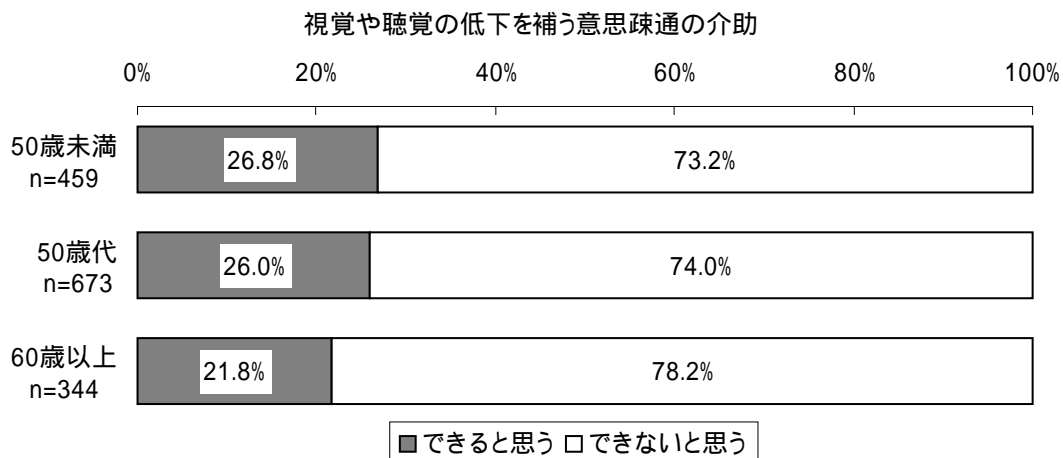
運動などによる身体機能訓練の介助



家族が「運動などによる身体機能訓練の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では25.5%、50歳代では25.9%、60歳以上では26.2%であった。

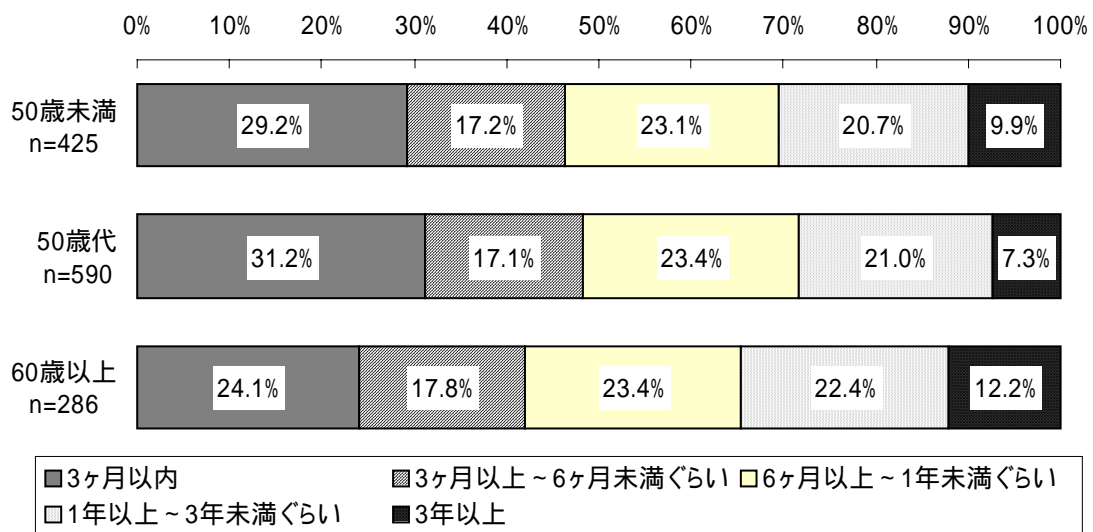


家族が「床ずれ防止のための定期的な寝返りの介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では34.4%、50歳代では38.8%、60歳以上では38.4%であった。



家族が「視覚や聴覚の低下を補う意思疎通の介助」を必要とする状態になった場合にその介助ができると思うかどうかを、年代別にみると、「できると思う」割合は50歳未満では26.8%、50歳代では26.0%、60歳以上では21.8%であった。

可能と考えられる家族介助の期間



家族が何らかの介助を必要とする状態になった場合にその介助ができると思う期間を、年代別にみると、50歳未満では「3ヶ月以内」が最も多く（29.2%）、次いで「6ヶ月以上～1年未満ぐらい」（23.1%）、「1年以上～3年未満ぐらい」（20.7%）、「3ヶ月以上～6ヶ月未満ぐらい」（17.2%）、「3年以上」（9.9%）であった。50歳代では「3ヶ月以内」が最も多く（31.2%）、次いで「6ヶ月以上～1年未満ぐらい」（23.4%）、「1年以上～3年未満ぐらい」（21.0%）、「3ヶ月以上～6ヶ月未満ぐらい」（17.1%）、「3年以上」（7.3%）であった。また、60歳以上では「3ヶ月以内」が最も多く（24.1%）、次いで「6ヶ月以上～1年未満ぐらい」（23.4%）、「1年以上～3年未満ぐらい」（22.4%）、「3ヶ月以上～6ヶ月未満ぐらい」（17.8%）、「3年以上」（12.2%）であった。